

# 国際関係概論 22

林 光

2007年11月29日 木曜日

## 0 前史

表 1: 19c

	政治	経済
国際	勢力均衡システム	国際金本位制
国内	自由主義的国家	自己調整的市場

表 2: 19c の欧州国際関係史

年代	主な事件	主役
-1815		ナポレオン I
1815-	ウィーン会議	メッテルニヒ
1848-	二月革命	ナポレオン III
1870-	普仏戦争	ビスマルク
1890-		ウィルヘルム II

表 3: 英の海外進出

場所	独占	理由
西アジア	×	近すぎて
南アジア		
東アジア	×	輸送力の限界

## 1 第一次世界大戦

### 1.1 原因

- 国際レベル

- ドイツの力の増大
- BoP の二極化・硬直化

- 国内レベル

- ナショナリズムの勃興<sup>1</sup>
- 階級対立 対外冒険

- 個人レベル

- 指導者の無能

### 1.2 経過

サラエボ事件 = オーストリア皇太子暗殺  
オーストリアによるセルビアへの宣戦布告<sup>2</sup>  
ロシアの部分動員  
ドイツによるシュリーフェン計画発動<sup>3</sup>  
イギリスの参戦  
トルコの参戦  
ロシアの脱落と革命  
アメリカの参戦<sup>4</sup>  
パリ講和会議とヴェルサイユ条約

### 1.3 結果

- 欧州の疲弊
- 米国の台頭
- 三帝国の崩壊・革命

<sup>1</sup>特に深刻だったのが、国内に多くの少数民族を抱えるオーストリア・ハンガリー帝国、オスマン・トルコ帝国

<sup>2</sup>オーストリアはセルビア（バルカンのスラブ民族主義）の弱体化を企図。そのオーストリアにドイツは白紙小切手を与えた！

<sup>3</sup>ドイツはベルギーの中立を侵犯し、対フランス戦へ

<sup>4</sup>ドイツによる無制限潜水艦戦とツインメルマン電報事件により

## 2 第二次世界大戦

日中戦争（小林英夫：講談社現代新書）  
夢と魅惑の全体主義（井上章一：文春新書）

### 2.1 原因

- 国際レベル
  - － ドイツによるリベンジ<sup>5</sup>
- 国内レベル
  - － 経済・社会の崩壊<sup>6</sup>
  - － イデオロギー対立
- 個人レベル
  - － ヒトラーの野望

「アラビアのロレンス」  
「怒りの葡萄」  
「地獄に堕ちた勇者ども」  
「生きるべきか死ぬべきか」  
「バンド・オブ・ブラザーズ」

### 2.2 経過

中産階級の不満を背景にヒトラー台頭  
再軍備と近隣の小国への拡張<sup>7</sup>  
フランスへの電撃戦  
英国上空の戦い  
独ソ戦  
日本の真珠湾攻撃  
アメリカの参戦

### 2.3 結果

- 欧州の没落
- 植民地独立
- 米ソ二極

## 3 参考文献

国際紛争（ナイ：有斐閣）  
軍事学入門（別宮暖朗：筑摩文庫）  
敗者の戦後（入江隆則：筑摩文庫）  
大東亜戦争の謎を解く（別宮暖朗他：光人社）  
日米開戦の謎（鳥居民：草思社）

<sup>5</sup>ヴェルサイユ体制下での巨額賠償や東部領土喪失が不満

<sup>6</sup>世界大恐慌の原因は？近隣窮乏化政策？最近の説：各国が金本位制へ固執したため？！

<sup>7</sup>スペイン内戦，オーストリア併合，ズデーテンラント併合，チェコ併合，ポーランド分割